

国立病院機構 東京病院

診療科・専門外来案内

2025年



独立行政法人国立病院機構

東京病院

独立行政法人国立病院機構 東京病院 診療科・専門外来のご案内

東京病院の前身は、昭和6年設立の清瀬病院と昭和14年設立の東京療養所が昭和37年に合併して現在の地に完成した、国立療養所東京病院です。平成16年4月に、独立行政法人国立病院機構東京病院となり、当初の結核専門の病院から、建物も診療内容も大きく変わってきました。そのころから、地域医療を担う急性期病院として発展し、地域災害拠点病院、二次救急医療機関、地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関などの指定を受けてきました。また、診療の幅を広げる中で、東京都アレルギー疾患医療専門病院、東京都がん診療連携協力病院（肺がん）などの指定も追加されました。医師の研修医療機関としての機能の充実も図り、内科専門研修の基幹病院、また連携病院としてのみならず、その先のサブスペシャリティ分野の研修においても、基幹病院、連携病院として、研修の受け入れを行っています。

結核患者の減少とともに役割を変え、清瀬の地で呼吸器診療のトップランナーとしての役割を果たしながら、北多摩北部医療圏及び所沢・新座を中心とした埼玉県の一部医療圏の地域医療を支え、さらには、国立病院としてのセーフティーネット系医療も行っています。新型コロナウイルス感染症対応など時代や地域の要請に応じて変化する役割を遂行しながら、変わらない安全で質の高い医療を目指し続けている、東京病院の現在の姿をより多くの先生方に知っていただくため、「東京病院 診療科・専門外来案内」を作成しました。

東京病院の診療科と専門外来を紹介することで、適切な病診・病病連携を行うための一助になればという思いで作成しています。スタッフの顔写真を載せることで、親しみを持って「顔の見える連携」ができればと思います。診療日・時間、診療実績などの参考情報も載せています。この冊子を常に手の届くところに置いていただき、患者さんを紹介する場面でご活用ください。この冊子が患者さんのために、貴院のために、そして地域のために貢献できれば幸いです。

令和7年6月

国立病院機構 東京病院
院長 松井 弘稔

診療科・専門外来案内

目次

1. 呼吸器内科	1
肺がん	5
禁煙外来	6
COPD	
間質性肺疾患	7
気管支喘息	
呼吸器リハビリテーション	8
いびき外来 (睡眠時無呼吸症候群)	
非結核性抗酸菌症・気管支拡張症	9
感染症内科	
肺真菌症	10
結核	
2. 肺循環・咯血センター	11
咯血外来	12
肺高血圧症外来	13
3. 呼吸器外科	14
炎症性肺疾患外科治療外来	15
4. リウマチ科	16
リウマチ外来	
5. 眼科	17
白内障外来	18
6. 消化器内科	19
7. 消化器外科	20
8. 循環器内科	22
ペースメーカー外来	23
9. 脳神経内科	24
アルツハイマー病治療薬 (レケンビ、ケサンラ) 外来	25
もの忘れ外来	26
高次脳機能障害外来	
10. 整形外科	27
11. リハビリテーション科	28
補装具外来	29
12. 泌尿器科	30
13. 歯科	32
14. 放射線科	33
15. 緩和ケア内科	34
16. 麻酔科	35
17. 病理診断科	36
18. 認定看護師	37
19. 地域医療連携室	40

1

呼吸器内科

スタッフ

院長

まつい ひろとし
松井 弘稔

専門：呼吸不全・呼吸管理

副院長

ささき ゆか
佐々木 結花

専門：結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症

呼吸器センター部長
肺循環・咯血センター部長もりお よしてる
守尾 嘉晃

専門：肺循環障害・肺高血圧症

地域医療連携部長

すずき じゅんこ
鈴木 純子

専門：肺真菌症

感染症科部長

おおしま のぶはる
大島 信治

専門：感染症・アレルギー

副呼吸器センター部長

なるもと おさむ
成本 治

専門：間質性肺疾患

呼吸器内科医長

かわしま まさひろ
川島 正裕

専門：非結核性抗酸菌症・気管支動脈塞栓術

呼吸器内科医長

しまだ まさひろ
島田 昌裕

専門：肺がん

呼吸器内科医長

さとう りょうた
佐藤 亮太

専門：間質性肺疾患

呼吸器内科医長

くさか けい
日下 圭

専門：肺がん・肺高血圧症

感染症センター長

ながい ひであき
永井 英明

専門：感染症・緩和ケア

呼吸器センター長

たむら あつひさ
田村 厚久

専門：肺がん

呼吸器内科医師

えのもと ゆう
榎本 優

呼吸器内科医師

なかむら すみえ
中村 澄江

呼吸器内科医師

たけだ けいた
武田 啓太

呼吸器内科医師

わたなべ まさと
渡辺 将人

呼吸器内科医師

なかの えり
中野 恵理

呼吸器内科医師

かとう たかふみ
加藤 貴史

呼吸器内科医師

こさい いぶき
小佐井 惟吹

呼吸器内科医師

さとう けんご
佐藤 賢吾

呼吸器内科医師

こいわ ともひろ
小岩 智大

呼吸器内科医師

もりもと やすひろ
森本 康弘

専攻医 (呼吸器内科)

しもぞの まさと
下園 真人

専攻医 (呼吸器内科)

なかむら ゆめ
中村 侑愛

専攻医 (呼吸器内科)

いとがわ かつひろ
糸川 勝博

専攻医 (呼吸器内科)

おくの しゅうし
奥野 衆史

専攻医 (呼吸器内科)

はた けんせい
羽田 憲生

専攻医 (呼吸器内科)

まえだ まさおみ
前田 将臣

専攻医 (呼吸器内科)

まつもと ゆうこ
松本 侑子

専攻医 (呼吸器内科)

まの ゆうと
真野 優斗

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午前	初診	○	○	○	○	○
	再診	○/★	○/★	○/★	○/★	○/★
午後	初診	○	○	○	○	○
	再診	○/★	○/★	○/★	○/★	○/★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

当院呼吸器内科は、腫瘍・感染症・間質性肺疾患・COPD・呼吸器アレルギー・肺循環/咯血の6部門の診療体制から成り、呼吸器外科・アレルギー科・放射線診療センター・リハビリ科・緩和ケア内科などとの協力体制の下で診療にあたっており、また、当院の他診療科とも情報交換が常に行われています。「風通しが良い」という言葉がぴったりしています。

当院の専門外来は、領域ごとの責任者が指導し、呼吸器専門医が行っており、肺がん、肺真菌症、非結核性抗酸菌症、間質性肺疾患、COPD、睡眠時無呼吸症候群、禁煙外来、咯血、肺高血圧症などを設置し、広く患者さんを紹介していただいています

腫瘍領域は田村医師、島田医師、日下医師が責任医師として運営しています。東京都がん診療連携協力病院であり、紹介してくださる先生方のご要望に応え、紹介いただいた患者さんに不安なく、診断・治療を続けていただけます。当院はがん相談支援センターを備えています。

感染症領域は、佐々木医師、大島医師を責任医師とし、結核・非結核性抗酸菌症をはじめ、アスペルギルス症などの真菌症、一般細菌性肺炎、HIV感染症などの診療を行っております。特に非結核性抗酸菌症、肺アスペルギルス症については、最新治療に即した診療が可能であり、また、患者数の増加が著しい気管支拡張症の診療も行っております。

間質性肺疾患領域では、成本医師、佐藤医師を責任医師とし、間質性肺炎、膠原病に合併した肺疾患、サルコイドーシス、更には稀少肺疾患の診療を中心に診療を行っております。病理診断医が院内に常駐しているため、診断については患者さんを診ている医師の疑問に応える仕組みを有しています。

COPD領域は、松井院長を責任者とし、COPDを中心に呼吸不全・呼吸管理を担当しています。また、患者数が増加している睡眠時無呼吸症候群の診断・治療も併せて行っており、外来でのスクリーニング、入院での終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査 (PSG) を行い、睡眠時のCPAP治療を行っております。また、禁煙外来も担当しております。すべての呼吸器疾患を生じないだけでなく、他臓器の腫瘍を生じないように、ぜひご紹介をお願いいたします。

アレルギー性肺疾患領域では、従来の呼吸器・アレルギー科の機能を包括し、大島医師を責任者としております。診療領域は気管支喘息を中心としておりますので、特に難治性の成人の気管支喘息に対する抗体製剤治療も積極的に行っております。

咯血・肺循環領域では、川島医師、守尾医師を責任者としております。川島医師・武田医師による咯血に対する気管支動脈塞栓術は、東日本でも有数の経験患者数を誇り、当院の看板診療科目といえます。当院は原因となる呼吸器疾患の治療も行うことができます。肺循環領域ですが、本邦で右心カテーテル検査可能な施設は多くありません。肺が心臓に負担をかけないよう診療する必要がある、なかなか知らない領域ですが、とても重要です。当院では肺循環動態測定を行いつつ、近年開発された肺血管拡張薬を導入することが可能です。

当院では、気管支鏡、胸腔鏡、気管支動脈塞栓術、CTガイド下生検、右心カテーテル検査などで診断・治療ツールが確立しています。日本呼吸器学会をはじめ国内外の呼吸器臨床の学会では、多くの研究発表をしており、また一方で、地域災害拠点病院・地域医療支援病院として、地域の先生方と連携しながら、頼りにされる病院を目指しています。

肺はひとの健康を映し出す「鏡」とも考えられます。肺の病気はもちろん、肺の病気かもと疑ったら、ぜひ、ご紹介ください。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
退院患者数	2,528人	2,518人	2,814人
気管支鏡検査件数	355件	426件	468件
気管支動脈塞栓術	55件	67件	70件
在宅酸素患者数 (月平均)	223人	232人	260人
在宅 NPPV患者数 (月平均)	19.7人	18.5人	13.8人
局麻下胸腔鏡	27件	16件	20件
右心カテーテル検査	19件	12件	11件

肺がん

スタッフ

島田 昌裕 / 日下 圭 / 田村 厚久

診療時間

新患当番医

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	○当番医	○当番医	○当番医	○当番医	○当番医
午 後	○当番医	○当番医	○当番医	○当番医	○当番医

再診

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前				★島田 ★田村 ★日下	★田村
午 後	★田村	★日下 ★島田		◇田村	

★ 予約制 ◇ セカンドオピニオン外来 (予約制)

ご紹介いただく先生方へ

当院は肺がんについての東京都がん診療連携協力病院であり、毎年250名を超える新規肺がん症例の診断・治療にあっています。ご紹介頂いた肺がん疑いの患者さんに対しては毎日、呼吸器内科当番医が診察し、速やかに主治医を決定します。主治医はご紹介後、約2週間で気管支鏡検査や造影CT、造影脳MRI、骨シンチなど、肺がんの診断・治療に必要な検査を完了します（気管支鏡検査は専用の透視室で週3回行っており、検査の精度向上のため、精密CT画像によるvirtual bronchoscopyや超音波内視鏡を併用しています）。当番医対応の他、島田、日下、田村の各医師外来へのご紹介もお引き受けしております。

肺がんへの治療方針は得られた検査結果を踏まえ、各診療科が参加する院内のキャンサーボードで多方面から検討した後に決定され、呼吸器外科の手術療法（約70例／年、主に胸腔鏡下手術）、放射線科の放射線療法（根治、姑息照射合わせ約90例／年、定位照射含む）、呼吸器内科の化学療法（無菌調整件数約2,200件／年）などが行われています。また胸膜中皮腫や胸腺腫瘍など、他の呼吸器がんに対しても、肺がんと同様、各診療科が協力して集学的治療を行っています。初回化学療法は副作用への対応も考慮し、原則的には入院で行い、歯科による口腔管理や院内多職種チーム（分子標的治療・免疫治療サポートチーム、緩和ケアチームなど）の支援も経て退院、2コース目以降は日常生活を維持しながらがん治療を続けられるよう、積極的に外来化学療法を行っています。

なお当院はLC-SCRUM研究（がんの遺伝子変化を調べる全国的な産学連携プロジェクト）参加に加え、関連病院との連携でがん遺伝子パネル検査（エキスパートパネル）にも対応しています。

近年、地域の高齢化が進む中、肺がん診療に介護や支援など、様々な社会的問題が関わってくるようになっていきます。こうした問題には地域医療連携室や医療福祉相談室、がん相談支援センターの専門相談員が丁寧に対応しております。また肺がん・呼吸器がんに対してのセカンドオピニオン外来も設けていますので、必要に応じてご活用ください。当院での肺がん診療の詳細につきましては、当院ホームページ「がんの治療について」もぜひご覧ください。

禁煙外来

スタッフ

松井 弘稔

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	○当番医	○当番医	○当番医	○当番医	○当番医
午 後		★			

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

2020年4月から改正受動喫煙防止法および東京都受動喫煙防止条例が全面施行され、飲食店や職場などの屋内が原則禁煙となりました。今後さらに禁煙の機運が高まってくるものと思います。患者さん自らが頑張る禁煙に成功するのは3割、禁煙外来での成功率は7割です。肺や心臓の基礎疾患があるのにタバコをやめられない方がいましたら、まず、禁煙の必要性を話していただき、患者さんが禁煙してみようかなと思ったら、禁煙外来をご紹介いただければと思います。

禁煙外来は火曜の午後のみですが、当院の呼吸器内科医師は禁煙指導ができますので、火曜午後以外をご希望の場合は、平日午前中の当番外来を受診してご相談いただければと思います。

COPD

スタッフ

松井 弘稔

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	○当番医	○当番医	★松井	○当番医	○当番医
午 後			★松井		

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

COPDはコモンディーズなので、内科の先生方は皆さん患者さんを診ていると思います。そうした時に、「気管支ぜんそくの合併はどうか」とか、「睡眠中の呼吸異常があるかも」とか、また、「一度CTで気腫や肺がんの評価をしたほうがいいのか」とか疑問が生じたときは、当院にご紹介いただければ必要な精密検査を行い、結果をフィードバックします。

また、そもそもCOPDだと思って吸入治療をしているけど、一度も呼吸機能検査をしていないという患者さんがいましたら、呼吸機能検査だけでも可能です。受診当日に検査も済みます。さらに、COPDでは、骨密度の低下や心疾患の合併も多く、併存疾患のスクリーニングなども当院にご紹介いただければと思います。他には栄養指導や呼吸リハビリも当院のスタッフが対応可能です。

水曜以外をご希望の場合は、当日の呼吸器内科当番医師が担当します。

間質性肺疾患

スタッフ

成本 治／佐藤 亮太／赤川 志のぶ (非常勤)

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	★佐藤	○当番医	★赤川	○当番医	★成本
午 後					

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

「間質性肺疾患」には、鳥由来の抗原やカビ等の吸入が原因の過敏性肺炎、粉塵吸入などを原因とする塵肺、薬剤性肺炎（原因薬剤としては抗癌剤、漢方薬、抗リウマチ薬など多岐にわたります）、関節リウマチ等の膠原病に伴ってみられる間質性肺炎、原因不明のいわゆる特発性間質性肺炎のほか、サルコイドーシスやランゲルハンス細胞組織球症など非常に多くの疾患があります。

多くの疾患群が治療のない領域でしたが、従来、特発性肺線維症にしか適応のなかったニンテダニブが線維化を伴った進行性間質性肺炎に対して進行速度を遅らせることが報告され、保険適応となり治療対象が拡大しました。最近では難病の対象も拡大しております。レントゲンやCT画像で広汎なスリガラス様陰影、線維化がみられた際には、ご紹介いただければと思います。各曜日の呼吸器内科当番（新患）外来で対応しておりますが、より専門的な診察が必要となる場合、月曜日の佐藤外来、水曜日の赤川外来、金曜日の成本外来は間質性肺疾患を専門としております。

気管支喘息

スタッフ

大島 信治／榎本 優／加藤 貴史

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	○当番医	★大島	○当番医	★加藤	★大島
午 後				★加藤 ★榎本	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

日本人のおよそ1割が気管支喘息患者と言われるくらいcommonな疾患であることから、先生方の外来にも多くの患者が通院されていると思います。

その中で、様々な治療を試みてもなかなかコントロールのつかない重症喘息患者の対応に関しては日々苦慮されていると推察いたします。

当院の特色は、呼吸機能検査、血液検査、画像検査を駆使し患者の現在の状況がどのレベルであり、どのような治療が適切であるかエビデンスに基づいて判断することです。

重症喘息患者に対しては生物学的製剤を積極的に取り入れ、臨床的寛解を目指した治療を行っており、生物学的製剤導入患者数は東京都でもトップクラスです。

果たして喘息なのか診断に苦慮する症例から、喘息と診断したが、治療抵抗性でコントロールが難しい症例までどのレベルの患者も一度、当院へご紹介頂ければと思います。

呼吸器リハビリテーション

スタッフ

佐藤 亮太

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	★予約制				
午 後					

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

呼吸リハビリテーションとは、呼吸器に障害が生じた患者さんに対して、可能な限り機能を回復し、あるいは維持することによって、症状を改善し、患者さん自身が自立した日常や社会生活を送れるように継続的に支援する医療です。

当院は、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎、気管支拡張症、肺非結核性抗酸菌症、肺結核、その他の呼吸器疾患に伴う慢性呼吸不全、肺癌などの術前術後の呼吸リハビリテーションを行います。患者さんの病態に合わせて、外れで入院日時を計画して円滑で効率よく呼吸リハビリテーションを行っていきます。

いびき外来（睡眠時無呼吸症候群）

スタッフ

松井 弘稔／佐藤 亮太

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	★佐藤(亮)	○当番医	★松井	○当番医	○当番医
午 後			★松井		

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

昔は、睡眠中にいびきをかくからといって、病院を受診するということはありませんでしたが、睡眠時無呼吸症候群が交通事故を招いたり、仕事の効率を下げたり、脳卒中や心筋梗塞・不整脈で健康を害したりすることが、今では明らかとなり、しっかり診断して治療する必要があることがわかっています。

さらに、「自動車の運転により人を死傷させる行為などの処罰に関する法律」では、睡眠時無呼吸症候群などの重度の眠気を有する病気の影響がある状況で、自動車を運転し人を死傷させると、最高で15年の懲役が科されることになりました。バスや鉄道の職業運転士のみならず、一般のドライバーも、自分が睡眠時無呼吸症候群であるかどうか、責任をもって検査・治療を受ける必要があります。重度の眠気の自覚があるのに、診断治療を受けていない場合には免許の更新が保留されることもあります。

外来で、いびきがあるかどうか尋ねてみることで、発見できる場合もありますので、疑わしい方がいましたらご紹介ください。当院では、重症の方にはCPAP治療を、軽症の方は、歯科との連携でマウスピースの作成や生活指導を行っています。また、外科手術の適応と思われる方は、手術ができる病院（耳鼻科など）への紹介も行っております。

非結核性抗酸菌症・気管支拡張症

スタッフ

川島 正裕／佐々木 結花

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	当番医	当番医	★佐々木 当番医	★川島 当番医	当番医
午 後	★川島	★佐々木	★佐々木	★川島、佐々木	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

肺非結核性抗酸菌症の患者さんは増加しています。進行が緩徐で症状が初期にはなく、経過観察しようかと思われる症例も、空洞の形成や血痰が生じ、肺機能の低下など、徐々に悪化する可能性があります。また、気管支拡張症は繰り返し肺炎を生じ、増悪し悪化する患者さんがおられます。軽症でも非結核性抗酸菌症・気管支拡張症を疑った場合、当院にご紹介ください。今後の方針について患者さんにご相談させていただいた後、当院と病診連携を行っていただければと思います。

また、これらの疾患についてセカンドオピニオン外来を開設しております。予約外来となりますが、診断や治療の面でご不安をお感じの際には、患者さんのご納得を得るようお手伝いをさせていただいております。セカンドオピニオン外来のご予約は地域医療連携室までお問い合わせください。

感染症内科

スタッフ

大島 信治／永井 英明 (非常勤)

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
初 診	午 前		大島	永井	大島	
	午 後				永井(予約のみ)	
再 診	午 前		大島	永井	大島	
	午 後				永井(予約のみ)	

ご紹介いただく先生方へ

当院は呼吸器疾患の受け皿の大きな病院ですので、当科の対象疾患は、細菌性肺炎、結核、肺非結核性抗酸菌症、肺真菌症、HIV感染症合併肺疾患、肺ウイルス感染症などの呼吸器感染症が中心です。特に、結核診療は当院設立当初から多くの患者さんを診ており、その伝統のうえに今の感染症科があるといっても過言ではないでしょう。

当院はエイズ拠点病院の一つとして、HIV感染症診療を積極的に行っています。木曜日の午後がHIV感染症外来です。HIV感染症の治療薬の進歩はめざましく、現在の最強の薬剤を組み合わせることにより、予後が格段に改善しました。今ではHIV感染症は高血圧や糖尿病のように薬を飲んでいれば、日常生活を普通に送れる「慢性疾患」に近い状態になっています。薬を飲むことにより、多くの方は元気に通院されています。当院は特にHIV感染症合併結核の治療ではわが国有数の症例数を経験しており、それについての臨床と研究を積極的に行ってきました。また、結核合併例だけでなく非結核性抗酸菌症やニューモシスチス肺炎など他の呼吸器疾患合併HIV感染症の症例も多数受け入れています。

感染症科としての外来日は上記のみですが、他の曜日、時間帯でもお電話いただければ対応させていただきます。

肺真菌症

スタッフ

鈴木 純子 / 深見 武史 (呼吸器外科)

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前					
午 後		★(内科)			★(内科・外科)

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

肺真菌症には肺に基礎疾患を持つ人に発症する慢性肺アスペルギルス症をはじめとし、肺クリプトコッカス症や、頻度は少ないですがムコール症、多くは輸入感染症として認めるヒストプラズマ症やコクシジオイデス症、アレルギー疾患でもある気管支肺アスペルギルス症などがあります。当院は東日本最大の結核病床を有し、多くの結核患者さんの治療を行っており、結核後遺症として発症することも多い慢性肺アスペルギルス症については特に治療経験が豊富です。近年は結核後遺症としてのみでなく、間質性肺炎やCOPD、肺癌や気胸などの胸部手術後に慢性肺アスペルギルス症を発症してくる症例も多く認めます。手術可能な症例では呼吸器内科・外科で連携して治療に当たり、完治を目標に手術を行います。慢性肺アスペルギルス症の手術は肺癌の手術以上に難易度が高く、当院は日本で本疾患の手術経験を多く有する数少ない施設の1つです。また、複数の抗真菌薬が近年は使用可能になり、各抗真菌薬の使い分けのノウハウについても、多くの使用経験から有しています。

慢性肺アスペルギルス症が疑われるが診断がつかない、手術適応があるかわからない、抗真菌薬治療が難渋している、などの慢性肺アスペルギルス症例をはじめ、肺真菌症でお困りの症例がありましたら、ご相談いただければと思います。

結 核

スタッフ

佐々木 結花

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	○当番医	○当番医	○当番医 ★佐々木	○当番医	○当番医
午 後		★佐々木	★佐々木	★佐々木	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

我が国の結核発生率は年々低下していますが、高齢者での発生率は依然として高く、外国出生者の結核も問題となっています。結核患者さんや結核疑いの患者さんを診療される機会はまだ多いと思いますが、その際には当院にご紹介下されれば幸いです。当院には長年にわたる結核診療の実績があり、現在でも国内有数の規模の結核病床を有しています。親切な診療・看護を心がけていて、多くの患者さんにご満足いただけているものと考えています。

結核または結核疑いの患者さんを当院にご紹介下さる際には、平日ならば呼吸器内科当番外来を受診するようにご指示いただければ幸いです。ただし、喀痰塗抹陽性例の方は、直接当院地域医療連携室までご連絡下さい。外来を経ずに入院していただくようにいたします。また、急ぎの方についても地域医療連携室までご連絡いただければ、当番医や結核病棟担当医が対応させていただきます。夜間・休日には当直医が対応いたしますので、いつでもご連絡下さい。また、金曜午後に結核や非結核性抗酸菌症の専門外来を行っています。再診患者さんが主ですが、難しい症例がありましたら是非ご紹介下さい。

2

肺循環・喀血センター

スタッフ

呼吸器センター部長
肺循環・喀血センター部長
もりお よしてる
守尾 嘉晃

呼吸器内科医長
かわしま まさひろ
川島 正裕

呼吸器内科医長
くさか けい
日下 圭

呼吸器内科医師
えのもと ゆう
榎本 優

呼吸器内科医師
たけだ けいた
武田 啓太

呼吸器内科医師
こさい いぶき
小佐井 惟吹

総合診療センター部長
あおき かずひろ
青木 和浩

肺循環・喀血センター客員部長
ますだ きみひこ
益田 公彦

ご紹介いただく先生方へ

2018年4月から私たちは肺循環・喀血センターを開設して患者さんへの医療提供の向上に努めてまいります。今までの喀血治療部門では、国際学会での発表や国内外医学誌への論文投稿などで診療実績の報告をし、患者さんへの医療提供とともに喀血治療に尽力してまいりました。この度、肺循環分野まで診療を拡大し、患者さんのニーズに益々お応えできるよう最善を尽くす所存です。2010年に開設した喀血専門外来は、毎週火曜日に診療を行っています。ほとんどの場合は患者さんが受診されている呼吸器科の先生からのご紹介ですが、中にはインターネットで患者さんご自身が東京病院を検索され来院されることもあります。東京病院ではカテーテル治療の進歩とともに大喀血で急変される患者さんが激減していきました。

肺高血圧症は、1990年代の新規治療薬の開発に伴い内科治療が著しく発展しましたが、依然として難病と考えられ、早期診断と治療が求められています。私たちは肺高血圧症治療をしっかりと行えるシステムづくりとして、循環器科医師と共同で検査と診療体制を構築しスムーズな診療を心がけております。

肺循環・喀血センターとして、医療提供の向上につながるよう患者さんとともに肺高血圧症と喀血治療に努め、その一方で、地域の先生方と連携しながら、この分野の診療においても、頼りにされる病院を目指しています。また日々診療の受け入れも行っていますので、その際は当日の呼吸器内科当番医師が担当します。ぜひ、ご活用ください。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
気管支動脈塞栓術	55件	67件	70件
右心カテーテル	19件	12件	11件

喀血外来

スタッフ

川島 正裕 / 武田 啓太

診療時間

午前・午後 / 曜日	月	火	水	木	金
午前					
午後		★1・3・5週 川島 ★2・4週 武田			

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

血痰 / 喀血は、気管支拡張症あるいは肺非結核性抗酸菌症あるいは肺アスペルギルス症等の慢性呼吸器感染症でみられることが多い症状です。また、肺癌や心血管異常でも血痰 / 喀血を来す場合があり、原因疾患は多岐にわたります。血痰 / 喀血は、患者さんの日常生活のQOLに大きく影響を及ぼし、また大量喀血においては迅速な対応が必要です。東京病院ではカテーテル治療の進歩とともに大量喀血で急変される患者さんは確実に減少しています。呼吸器基礎疾患に対する治療や止血薬処方での出血の改善が得られない時には、ぜひお問い合わせください。

喀血外来は毎週火曜日午後に行っていますので、地域医療連携室にお電話をいただき予約をお取りください。受診日に造影剤を使用したCT-angiographyを行って3D画像を作成し、今後の治療方針と塞栓術の適応があればカテーテル治療の日程を決めてまいります。東京病院の気管支動脈塞栓術の実績は全国でも有数です。気管支動脈塞栓術後も患者さんが落ち着かれるまで、東京病院でしっかり支持診療を致します。

緊急の対応が必要な場合は、24時間365日、呼吸器内科医師が対応しますので、ご相談ください。

肺高血圧症外来

スタッフ

守尾 嘉晃 / 日下 圭 / 青木 和浩

診療時間

午前・午後 / 曜日	月	火	水	木	金
午前			★守尾	★日下	
午後	★日下	★守尾	★守尾		

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

肺高血圧症の症状は、易疲労感、息切れ、胸痛、重症例では失神などがあります。内科の先生方は、気管支喘息、COPD、間質性肺炎などの患者さんの診療で易疲労感や息切れの訴えを聞かれることがあると思います。また狭心症や心筋梗塞などの心疾患、気胸などの患者さんの診療で胸痛の訴えを聞かれることがあると思います。胸部X線、CT、肺機能検査、心臓超音波検査でこれらの疾患の診断に当てはまらない時、肺高血圧症や肺血栓塞栓症の鑑別診断が必要ながあります。そのような患者を診察された際には、ぜひお問い合わせください。肺高血圧症外来は、月曜火曜日午後、木曜日午前、水曜日全日に診療を行っています。

東京病院では、肺換気血流シンチや右心カテーテル検査を行ってスムーズに診断を進め、治療方針を組み立ててまいります。また結果をフィードバックしてお伝えし、地域の医療連携における医療提供の向上に努めます。

3

呼吸器外科

スタッフ

呼吸器外科医長

ふかみ たけし
深見 武史

H7年 浜松医大卒

呼吸器外科医師

よつもと たくま
四元 拓真

H22年 東京大卒

呼吸器外科医師

こばやし きみひこ
小林 公彦

H28年 東北大卒

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診		○			○
	再 診		○			○
午 後	初 診		○			○

ご紹介いただく先生方へ

当科では原発性肺癌を中心に、気胸、縦隔腫瘍、さらには療養所時代からの伝統でもある炎症性肺疾患・膿胸などの、心臓血管外科・食道外科・脊椎外科・乳腺外科領域を除いた胸部疾患の外科治療を行っております。

肺疾患の特性上、画像診断だけで確定診断が得られないことも多く、気管支鏡での生検が必要となりますので、原発性肺癌や炎症性肺疾患が疑われる肺病変や縦隔腫瘍の初診は呼吸器内科へのご紹介をよろしくお願い致します。当院呼吸器内科で精査が済み次第、当科にコンサルトがあり、2～3週間後を目途に手術予定を組んでおります。原発性肺癌であれば術後7～14日程度、炎症性肺疾患であれば術後7～21日程度で退院するのが通例です。通常より早期に退院可能な場合もありますが、十分な入院期間を以って、安心して退院して頂けることを第一に考慮しています。若年者の気胸は如何に早く治療して退院させるかが重要と考えていますので、通常、術後2泊3日で退院可能となります。

炎症性肺疾患・膿胸に対する外科治療に関してはエビデンスの少ない領域であるため、これまでに蓄積された経験が重要です。巷では肺癌治療が主流となり、炎症性肺疾患や膿胸に対する経験の少ない外科医ばかりとなっています。手術適応があるか、ないかということだけでも気軽にご紹介いただければ幸いです。

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
手術症例数	135件	156件	147件
肺悪性腫瘍	58件	70件	57件
炎症性肺疾患	21件	32件	30件
膿胸	8件	12件	13件
嚢胞性肺疾患（気胸など）	20件	24件	30件
縦隔腫瘍	7件	3件	6件
胸壁腫瘍	0件	0件	1件
胸膜疾患	2件	0件	1件
その他	19件	15件	9件
胸腔鏡下手術	104件	114件	111件

炎症性肺疾患外科治療外来

スタッフ

深見 武史

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前					
午 後					★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

結核に関しては抗結核薬の効果により外科治療の必要性はほとんどなくなりましたが、代わりに増加しているのが、肺非結核性抗酸菌症や肺アスペルギルス症です。無症状で治療されずに経過観察されている患者さんも大勢おられますが、長年の経過で血痰・咯血、呼吸不全に陥る患者さんもいらっしゃいます。抗菌薬や抗真菌薬による治療を導入しても排菌のコントロールが出来ない、病巣が拡大するといった場合、病勢コントロール目的に外科切除を行うことがあります。

どのタイミングで、どのような病変に対しどのような外科治療を行うのかということは、日頃から炎症性肺疾患の診療を行っていない呼吸器外科医には判断できません。炎症性肺疾患の外科治療には経験が重要ですが、その経験が当科には十分に備わっております。悪化した状態でご紹介いただくより、一緒に外来で経過観察させていただきながら、外科治療に踏み切るタイミングを見計らっていただければ幸いです。何卒よろしくお願いたします。

4

リウマチ科

スタッフ

臨床研究部長

ふるかわ ひろし

古川 宏

専門：リウマチ・膠原病

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診				★	
	再 診			○	○	
午 後	初 診					
	再 診			★	★	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

原因がよくわからない関節腫脹・疼痛、筋肉痛、発熱、皮疹、レイノー症状、CRP上昇、リウマトイド因子陽性、抗CCP抗体陽性、抗核抗体強陽性（概ね160倍以上）など、関節リウマチや他の膠原病が疑われましたら、ご紹介いただきたいと思えます。

リウマチ外来

スタッフ

古川 宏

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前				○	○	
午 後				★	★	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

近年、関節リウマチの治療は目覚ましい進歩を見せています。かつては極めて困難であった「寛解」を目指すことができるようになりました。東京病院では、優れた抗リウマチ薬の全てを投与できる体制が整っています。なお、リウマチ・膠原病以外の合併症に関しましては、可能な範囲で貴院との併診とさせていただきたいと思えます。

5 眼科

スタッフ

眼科医長

じょうこう さとる
上甲 覚

専門：白内障・眼瞼下垂手術

眼科医師

なかやま けい
中山 馨専門：眼科一般・糖尿病網膜症
網膜静脈閉塞症

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診	○	▲	○	○	○中山
	再 診	○	▲	○	○	○中山
午 後	初 診	○		○	○	○

▲ 第2・第4火曜日のみ（上甲は不定期で手術あり）

ご紹介いただく先生方へ

2017年度から主に白内障と眼瞼下垂症の手術、黄斑疾患の抗VEGF療法を行っています。その他に、眼瞼結膜良性腫瘍、眼瞼内反、結膜弛緩症の手術も対応。2024（令和6）年度は、424件で過去の記録を更新。

ご紹介いただく時のご参考になると考え、当院での主な学術論文も下記にまとめました。

「最近の学術論文」

- ・上甲 覚：角膜混濁と病的近視のある成熟白内障に超音波白内障手術を行った1例. あたらしい眼科34：1606-1609, 2017
- ・上甲 覚、中山 馨：新しい眼科手術練習用モデル眼の試作. 臨床眼科72：419-423, 2018
- ・上甲 覚：硝子体内注射の練習用モデル眼の試作. あたらしい眼科36：1335-1337, 2019
- ・中山 馨、上甲 覚、蛇澤 晶、木谷匡志：好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に眼瞼結膜腫瘤を合併した1症例. 臨床眼科73：325-329, 2019
- ・中山 馨、上甲 覚：白内障手術後10年以上経過観察できたぶどう膜炎併発強皮症の1例. 臨床眼科74：1279-1285, 2020
- ・中山 馨、上甲 覚：ぶどう膜炎既往のある強皮症の男性に白内障手術を施行した1例. 臨床眼科75：1358-1363, 2021
- ・中山 馨、上甲 覚、木谷匡志：結膜腫瘤を生じたIgG4関連眼疾患の1例. 臨床眼科76：613-616, 2022
- ・中山 馨、上甲 覚：白内障手術を行った末期癌患者の3症例. 臨床眼科77：1303-1307, 2023

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
白内障手術	282	241	260
眼瞼下垂手術	19	22	20
その他	88	119	144
合計	389	381	424

白内障外来

スタッフ

上甲 覚

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前	○	▲	○	○	
午 後			★上甲		

★ 予約制

▲ 第2・第4火曜日のみ（不定期で手術あり）

ご紹介いただく先生方へ

白内障は、入院・日帰り手術どちらでも対応可。抗がん剤、免疫抑制剤治療、酸素吸入を行っている方でも対応しておりますので、ご相談ください。

6

消化器内科

スタッフ

消化器センター部長

 きた ひろと
 喜多 宏人

消化器内科部長

 かみつかさ ひろし
 上司 裕史

消化器内科医長

 たなか あきひさ
 田中 晃久

消化器内科医長

 さとう ひろかず
 佐藤 宏和

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診	○	○			
	再 診	★	★	★	★	★
午 後	初 診		○			
	再 診	★			▲	

★ 予約制 ▲ 第2・第4週のみ

ご紹介いただく先生方へ

当院消化器内科は、食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの病気を診断・治療しています。当院は、最新の内視鏡設備を備えており、内視鏡検査の経験豊富なスタッフが在籍しておりますので、上部内視鏡や大腸内視鏡を安心して受けていただくことができます。また、胆膵疾患は近年増加しており、腫瘍や結石に対し、迅速で適切な診断治療が必要ですが、当院には胆膵疾患の診断治療に経験豊富なスタッフが在籍しておりますので、安心してご紹介ください。近年の内視鏡治療の進歩により、従来外科手術が必要であった疾患の低侵襲治療が可能となりつつあり、化学療法の進歩は、従来外科手術では治療困難な進んだ病態に対する治療効果を発揮しています。当院では内視鏡治療・化学療法を得意とするスタッフが治療を担当しております。

当院では、消化器内科と消化器外科が消化器センターとして組織化され、一人の患者に対する両診療科による共同診療がルーチン化されています。更に、放射線科、病理検査科、薬剤部など他部門との連携も強化し、特に集学的治療を必要とする癌患者の治療を中心に、消化器疾患に対するチーム医療体制を実践しています。また、緩和医療にも力を注いでおり、経験豊富なスタッフが診療を担当しています。

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上部消化管内視鏡	853件	910件	881件
下部消化管内視鏡	610件	706件	624件
ERCP	61件	50件	94件

7 消化器外科

スタッフ

病棟診療部長

なかやま ひろし
中山 洋

専門：上部消化管外科・消化器外科一般

消化器外科医長

なかだ ひろし
中田 博

専門：大腸外科・消化器外科一般

消化器外科医師

ほうじょう だいすけ
北條 大輔

専門：大腸外科・消化器外科一般

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診	○	○	○	○	○
	再 診		○	○	○	○
午 後	初 診	○	○	○	○	○
	再 診					

*手術・検査等の都合により、お待たせすることがあります。初診の受診をご希望の場合は来院前にお問い合わせをお願いします。

*初診受付は、8時30分～11時とさせていただきます。

*初診枠はあらかじめ予約を取っていただくか、急患の場合は地域医療連携室を通してのご連絡をお願いいたします。

ご紹介いただく先生方へ

当科では、消化器センター外科部門として、消化器疾患（悪性・良性も含め）の手術や腹部救急の緊急手術を始め、在宅医療で必要とされる中心静脈ポート造設や胃瘻造設など、消化器外科手術全般ならびに一般外科手術を随時行っております。手術適応・術式や周術期管理は各種ガイドラインおよびエビデンスに基づく標準治療を基本としており、最近では腹腔鏡手術にも力を入れております。低侵襲手術・過不足のない手術を行うことで、できる限り患者さんのご希望に沿った診療を心がけています。

当院の特性として、呼吸器疾患を有する低肺機能の患者さんの割合が高く、また肺結核合併手術や腸結核手術を都内近県から受け入れています。ハイレベルな呼吸器センターのバックアップのもと、他院では敬遠されがちな症例にも対応しています。また、消化器センター内は内科外科の垣根が低く、緊密にカンファを行い、術前診断・手術適応・病理結果を踏まえ術後followなどについて話し合いを行っております。

進行癌術後のfollowについては消化器センターで随時対応をしていきたいと考えておりますが、紹介元での併存疾患などについては基本的に情報提供書をもとにした共同診療をお願いしております。

コロナウイルス感染症も、当初の流行時よりワクチン接種者の増加や治療薬の開発に伴い、重症化例は減少してきております。しかしながら医療機関においては、入院時の院内感染の予防や手術後の体力低下時の感染は極力防ぐべきものと考えられておりますので、患者様やご家族の皆様におかれましては、院内でのマスクの着用等を引き続きお願いしており、患者さんや医療スタッフのコロナ感染判明時や体調不良時には、手術日程の変更などをお願いすることがあります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。当院は呼吸器疾患の診療に強みのある病院であり、今後も院内医療関係者が一致団結して対応していくつもりであります。

診療実績

項 目	2024年 (1~12月)		2023年 (1~12月)	
	手術件数	うち腹腔鏡手術数	手術件数	うち腹腔鏡手術数
大腸癌 (結腸癌+直腸癌)	45件	(24件)	45件	(18件)
胃癌	18件	(2件)	17件	(1件)
胆石・胆のう炎・胆のうポリープ	53件	(44件)	34件	(33件)
そけいヘルニア	40件	(8件)	41件	(5件)
急性虫垂炎	15件	(12件)	13件	(11件)
腸閉塞	6件	(1件)	8件	(1件)
内視鏡下胃瘻造設術	28件		18件	
中心静脈ポート造設術	35件		34件	
その他	47件		42件	
総手術件数	272件	(90件)	252件	(69件)

(件数は手術の併施による重複を含みます)

8

循環器内科

スタッフ

総合診療センター部長

あおき かずひろ
青木 和浩

循環器内科医長

おかはし のりこ
岡橋 典子

循環器内科医師

おがわ かずや
小川 一矢

循環器内科医師

ほんま ひろの
本間 仁乃

循環器内科医師

いしばし ひろし
石橋 寛史

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診	○	○	○	○	○
	再 診	★		★	★	★
午 後	初 診	○	○	○	○	○

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

心不全、弁膜症、虚血性心疾患、高血圧、不整脈、メタボリックシンドロームの治療を行っております。予約がなくても診察ができるように当番医がおります。カテーテル治療 (PCI)、ペースメーカー植込手術、心臓核医学検査、心臓超音波検査ができます。また肺循環・喀血センターとともに肺高血圧症の診療を行います。

病院として病診連携の向上に取り組んでおります。緊急でない患者さんにつきましては、地域医療連携室にお電話、FAXして予約をお取りいただき、患者さんに診療情報提供書を持参していただくとスムーズに診療できます。なお、予約なしで診療情報提供書のみでも外来診療時間内であれば受付できます。その場合は混み具合により患者さんにお待ちいただくことがあります。

緊急時には、お電話で「循環器内科医師へ」と告げていただければ救急当番の循環器内科医師が対応します。夜間休日には循環器内科医師が不在のため対応できない場合がありますことをご承知ください。

診療実績

項目	令和4年	令和5年	令和6年
心不全入院患者数	66人	84人	101人
(うち急性心不全入院患者数)	1人	2人	3人
(うち慢性心不全入院患者数)	65人	82人	98人
年間入院患者数	88人	90人	124人
平均在院日数	26.0日	23.3日	22.4日
心電図マスター負荷試験	492件	448件	490件
ホルター心電図	495件	481件	561件
経胸壁心エコー	1,777件	1,872件	1,913件
経食道心エコー	1件	2件	5件
冠動脈造影検査 (PCIは含めない)	11件	8件	0件
運動負荷心筋血流シンチ	31件	25件	35件
薬物負荷心筋血流シンチ	95件	100件	82件
肺血流シンチ	28件	20件	28件
心臓ピロリン酸シンチ	7件	22件	29件
冠動脈CT	18件	9件	6件
大血管CT	6件	23件	7件
不整脈治療ペースメーカー植え込み (新規)	2件	4件	1件
// (交換)	3件	2件	8件

ペースメーカー外来

スタッフ

青木 和浩

診療時間

午前・午後/曜日	月	火	水	木	金
午前					
午後					★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

ペースメーカー植え込み後の患者さんを対象に電池残量の点検、ペースメーカーの機能の点検を行っています。

5月・11月の半年に一度まとめておこなっております。必要な患者さんがおられましたら、まず一般の循環器内科外来にご紹介ください。

9

脳神経内科

スタッフ

外来診療部長

こみや ただし
小宮 正外来日：火・水・金
※もの忘れ外来は水曜午後

脳神経内科医長

しいな めいこ
椎名 盟子外来日：月・水・木
※木曜は第2、4、5のみ

脳神経内科医長

なかむら みえ
中村 美恵

外来日：火・金

脳神経内科医長

いしづ のぶたか
石津 暢隆

外来日：月・木

脳神経内科医師

まつもと ゆうすけ
松本 祐輔

外来日：金

非常勤医師

くりさき ひろし
栗崎 博司外来日：第1、3木のみ
※もの忘れ外来、高次脳機能
障害外来を兼ねる

診療時間

脳神経内科一般外来 8：30～12：00 受け付けは11：00まで

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診	○	○	○	○	○
	再 診	○	○	○	○	○

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

脳神経内科は頭痛、めまい、しびれなど多くの方が経験し、しかもそれらのために日常生活に支障を来している症状に対応する診療科で、脳、脊髄、末梢神経、筋肉にいたる幅広い範囲に対応いたします。

特に当院脳神経内科では神経難病の診断、加療を積極的に取り組んでおります。神経難病は根本的な治療法もないものも多く、積極的な医療介入が難しいとされてきましたが、最近ではさまざまな疾患で新たな治療法の開発がなされております。また、新たな病態の解明による療養環境の改善などもあり、適切な医療の提供が必要不可欠となってきております。神経難病の診療については患者ご本人だけでなく、介護者であるご家族も含めてより細やかな支援が必要です。これらの患者さんの診療について、ご不明の点などありましたら、お気軽にご紹介下さりますようお願いいたします。

また、社会の高齢化に伴い認知症の患者さんも増加しています。認知症は自動車事故や、詐欺などの犯罪に巻き込まれること、また、行方不明の高齢者の増加など社会全体の喫緊の課題と言えます。認知症については、専門外来としてもの忘れ外来を設置し、適切な診断、加療について先生方と協力しながら地域医療に積極的に貢献したいと考えております。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一日平均入院患者	30.4人	29.9人	37.7人
新入院患者数	138人	118人	169人
脳神経内科外来患者数	7,296人	6,885人	7,557人
水曜日もの忘れ外来患者数	234人	215人	196人
木曜日もの忘れ外来患者数	76人	69人	34人
高次脳機能外来患者数	15人	14人	16人

アルツハイマー病治療薬(レケンビ、ケサンラ)外来

スタッフ

小宮 正

診療時間

午前・午後/曜日	月	火	水	木	金
午前					
午後			★		

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

2023年12月より、アルツハイマー病による軽度認知障害あるいは軽度認知症に対して、原因物質と考えられているアミロイドβに対する抗体薬であるレケンビが保険適用となりました。2024年暮れには同じ効果のケサンラも保険適用となっております。当院でも、適応のある患者さんに対して、症例ごとに慎重に検討した後、投与を行っております。

今のところ、もの忘れ外来に併設する形で開始しております。もの忘れが始まった患者さんに対して、まずは脳神経内科外来を受診していただき、患者さんのご希望、投与の可否などを検討いたします。該当の方がおられましたら、脳神経内科外来へご紹介いただきますようお願い申し上げます。

もの忘れ外来

スタッフ

小宮 正 / 栗崎 博司 (非常勤)

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前				★1、3週	
午 後			★	★1、3週	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

認知症はご本人、ご家族のみならず社会全体の問題です。介護保険制度の導入以後、介護面での支援はある程度整いつつあるとは思いますが、そのためには早期の診断がとて重要で重要。最近アルツハイマー病や血管性認知症だけでなく、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症なども精査により診断ができるようになってきました。

また、認知症と思っていた症例が、適切な治療で改善することも少なくありませんので、「年だから」と諦めずに、一度ご紹介いただければ幸いです。

当院もの忘れ外来では、問診、神経学的所見をとり、必要に応じて血液検査、画像検索 (MRI、核医学検査)、脳波検査、神経心理学的検査を施行し診断したあと、患者さん、ご家族と治療方針を相談していきます。その過程で先生方ともご相談させていただき、患者さんのQOLをいかにして保っていくか考えていきたいと思っております。脳神経内科の診断には正確な病歴や患者さんの生活環境など細かい情報が必要ですので、できる限りご家族と一緒に受診していただくようご高配いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

高次脳機能障害外来

スタッフ

栗崎 博司 (非常勤)

診療時間

午前・午後／曜日	月	火	水	木	金
午 前				★1、3週	
午 後				★1、3週	

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

病気や事故などで脳が損傷を受け、記憶、言語、動作、注意力などに何らかの障害が生じた状態を高次脳機能障害といいます。原因は、脳卒中 (脳梗塞、脳出血、くも膜下出血) や脳炎などの病気、事故や転落などの頭部外傷など様々です。また、外見では障害を理解しにくいいため、「見えない障害」とも言われています。高次脳機能障害は症状のわかりにくさから、必要な福祉サービスを利用できない方が多く、また、ご本人自身も障害を自覚しにくい特徴があるため、生きにくさを抱えて長年苦しまれている方が少なくありません。

当外来では高次脳機能障害の診断、リハビリテーション、地域医療連携など、積極的なサポートに取り組んでいます。

10

整形外科

スタッフ

整形外科医長

ほり たつゆき
堀 達之

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診		○	○/★		○/★
	再 診	★	○/★	○/★		○/★
午 後	初 診			▲		▲
	再 診	★				

★ 予約制 ▲ 手術が無い場合は診察可能

ご紹介いただく先生方へ

当院整形外科は一人医長体制ですが、毎週水曜日と金曜日に東京大学整形外科教室より非常勤医師を派遣して頂くことで、外来診療と手術実施体制を強化しています。水曜日および金曜日の午後を手術日として出来る限り手術を行い、手術件数はこれまで年間30件前後行っています。

主な手術は骨折が多く、大腿骨頸部骨折/大腿骨転子部骨折に対する人工骨頭挿入術や骨接合術、その他、橈骨、上腕骨、鎖骨、足関節骨折への骨接合術など実施しています。また、手根管症候群、肘部管症候群などの末梢神経除圧術、良性腫瘍摘出術、結核性関節炎搔爬術なども実施しています。令和2年4月より人工関節置換術（股関節、膝関節）も実施しております。当科で手術した患者さんは、基本的に当院で引き続きリハビリテーションを実施し、退院して頂く体制を整えています。

また、他の医療機関で手術された患者さんの術後回復リハビリテーションもお引き受けし、当院で実施しています。脊椎圧迫骨折の保存的入院加療や、骨転移の精査、また、上記手術以外にも、頸椎症、腰椎椎間板ヘルニアの脊椎手術の対応も出来ますので、ご紹介頂ければ出来る限り対応させていただきます。

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外来受診患者数 (人/年)	4,022人	3,805人	3,816人
延入院患者数	842人	1,256人	1,209人
手術件数	20件	25件	29件

11

リハビリテーション科

スタッフ

リハビリテーション科医長

いとう いくの
伊藤 郁乃

リハビリテーション科医師

えんどう りょう
遠藤 遼

リハビリテーション科医師

みなみで けいすけ
南出 圭介

リハビリテーション科医師

はた たかゆき
畑 孝幸

非常勤医師

しんどう なおこ
新藤 直子

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午後	初診	○		○		○
	再診	★		★		★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

リハビリテーション科では、回復期リハビリテーション病棟（50床）にて脳血管障害や骨折後などの専門的リハビリテーションを行っています。専従・専任のリハビリテーション医が主治医となり、基礎疾患の管理と科学的予測に基づいたリハビリテーションを行うとともに、主治医とチームの責任者を兼ねることで、より安全で質の高いリハビリテーションを提供します。医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・薬剤師・歯科衛生士など、多職種連携によるきめ細かいチーム医療には40年以上の実績があります。院内外の各診療科と連携し、合併症についてもできる限り対応するとともに、退院後の介護保険サービスとも連携し、安心して退院できるようきめ細かいサービスを行っています。

豊かな自然に恵まれた療養環境の中で、一人一人の目標に向けてカンファレンスを重ね、家庭や地域での「その人らしい生活」の実現を目指して全職種が知恵を結集しているのが当院のリハビリテーションチームです。脳血管障害や骨折、手術後2ヶ月以内の患者さんについて入院リハビリテーションのご希望があるとき、また、先生方が地域で経過を見ている患者さんのリハビリテーションについて、ご不明な点などございましたらどうぞお気軽にご相談ください。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均年齢	68歳	67歳	76歳
性別 男性割合	48%	52.9%	55.3%
重症度割合 (日常生活自立 \geq 10)	50.0%	45.9%	41.6%
発症～入棟まで	30日	33日	35日
日常生活自立度：入棟時 \Rightarrow 退棟時	8 \Rightarrow 4	7 \Rightarrow 3	8 \Rightarrow 4
平均在院日数	102日	86日	83日
総合FIM：入棟時 \Rightarrow 退棟時	62 \Rightarrow 95	66 \Rightarrow 100	57 \Rightarrow 89
運動FIM：入棟時 \Rightarrow 退棟時	38 \Rightarrow 66	42 \Rightarrow 71	33 \Rightarrow 60
実績指数 (除外前 \Rightarrow 除外後)	41.1 \Rightarrow 48.5	52.6 \Rightarrow 64.6	49.8 \Rightarrow 63.3

補装具外来

診療時間

月曜11～12時 要予約

時間/曜日	月	火	水	木	金
11:00～12:00	★				

★ 予約制

12

泌尿器科

スタッフ

統括診療部長

せぐち けんじ
瀬口 健至

専門：泌尿器腹腔鏡手術

平成3年卒 医学博士、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医、
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、
身体障害者福祉法指定医、日本透析医学会認定医、
防衛医科大学校泌尿器科非常勤講師

泌尿器科医長

やまなか まさのり
山中 優典

専門：泌尿器科一般

平成8年卒 医学博士、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診	○瀬口	○山中	○瀬口		○山中
	再 診	○瀬口	○山中 ★瀬口	○瀬口		○山中
午 後	初 診					
	再 診	★山中※				

★ 予約制

※ 1・3・5週目 予約のみ (通常の予約は受け付けておりません)

ご紹介いただく先生方へ

泌尿器科疾患全般にわたり診療しております。良性疾患では、前立腺肥大症、過活動膀胱などの排尿障害、前立腺炎、腎盂腎炎、膀胱炎などの尿路感染症、尿路結石症が主な対象です。前立腺癌、膀胱癌、腎癌、腎盂尿管癌、精巣癌などの悪性腫瘍について、診断、治療（外科的治療、抗癌剤治療、内分泌療法など）を行っています。腎癌、腎盂尿管癌に対しては、積極的に腹腔鏡手術を施行し、速やかな回復と術後のADL維持に寄与しています。腎癌に対する腎部分切除術についても、可能な症例は腹腔鏡下手術を行っています。前立腺全摘除術や難易度の高い腎部分切除術については、ロボット補助下腹腔鏡手術ができる施設に紹介しています。切除不能な転移性腎癌に対する分子標的薬治療、免疫チェックポイント阻害薬による治療、尿路上皮癌に対する化学療法、免疫チェックポイント阻害薬による治療、前立腺癌に対する化学療法などの薬物療法も積極的に施行しています。前立腺癌、膀胱癌に対する根治を期待する放射線療法、前立腺癌、腎癌、尿路上皮癌による骨転移に対する緩和放射線療法も症例に応じて施行しております。令和3年度に、尿路結石症に対する経尿道的碎石術を開始いたしました。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
副腎摘除術（鏡視下）	0件	0件	0件
腎部分切除術（開腹）	1件	0件	0件
腎部分切除術（鏡視下）	1件	1件	2件
根治的腎摘除術（鏡視下）	0件	4件	3件
腎尿管全摘術（鏡視下）	6件	5件	4件
経尿道の尿管結石破碎術（TUL）	13件	13件	6件
経尿道の膀胱結石破碎術	13件	13件	9件
経尿道の膀胱腫瘍切除術	37件	43件	38件
膀胱全摘+尿路変更	1件	0件	0件
経尿道の前立腺切除術	12件	11件	21件
前立腺生検	86件	68件	64件
尿管ステント留置術	23件	22件	24件
高位精巣摘除術（精巣癌手術）	2件	5件	2件
陰嚢内手術	1件	1件	2件

13

歯科

スタッフ

歯科医長

いせき ぶみこ
井関 史子

歯科医師

たかしま まほ
高島 真穂

歯科医師

よしざき れいこ
吉崎 怜子

診療時間

午前・午後/曜日		月	火	水	木	金
午前	初診	○	○	○	○	○
	再診	○	○	○	○	○
午後	初診					
	再診		★	★	★	★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

一般歯科診療の他、周術期口腔管理、抗がん剤やステロイド投与中の口腔管理、睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置作成、誤嚥性肺炎予防目的での専門的口腔ケアなどを行っています。治療中に予想される口腔内副作用（口腔粘膜炎や口腔感染症）に対して予め予防を図り、口腔機能向上・維持のための歯科治療（抜歯や義歯作成など）を組み込んで長期的な治療方針を検討しています。

医科との密接な連携のもと、院内はもちろん、地域の病院・施設や在宅診療とも繋がり、最後まで快適な口腔環境でお過ごしいただけるよう取り組んでいます。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
周術期口腔機能管理	91件	135件	138件
抗がん剤治療中の口腔管理	818件	896件	1,132件
睡眠時無呼吸症候群に対する治療	140件	186件	134件
口腔ケア	1,145件	1,337件	1,629件

14

放射線科

スタッフ

放射線科医長

ちょう たいちん
張 大鎮

専門：放射線治療

放射線科医長

ほりべ みつこ
堀部 光子

専門：放射線診断

放射線科医師

み かみ あきひこ
三上 明彦

専門：放射線治療

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診					○
	再 診	★	★	★	★	★
午 後	初 診	★	★	★	★	○
	再 診	★	★	★	★	★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

放射線科は画像診断部門と、治療外来を含む放射線治療部門があり、各診療科と協力しながら、チーム医療を行い、より質の高い医療の提供に努めております。また、地域の医療機関からの依頼画像検査、放射線治療も対応しています。

診断部門ではCT、MR、核医学RI（主に全身骨、肺血流、脳血流・認知症、心筋）を中心に画像診断を行い、翌診療日までには読影レポートを発行しております。CT単純撮影は当日予約なしでお受けできます。どうぞ、ご利用ください。

放射線治療部門では、リニアック装置1台で年間約200症例以上の放射線治療を行っています。根治照射となる対象疾患は主に肺がん、前立腺がん、直腸がん（術前照射）、乳がんと子宮頸がん（術後照射）などですが、がんによる疼痛などの症状に対する緩和照射も行っております。現在、高精度放射線治療として強度変調放射線治療（IMRT）、画像誘導放射線治療（IGRT）、体幹部及び脳定位照射を行っており、適応につきましては、どうぞご相談下さい。緩和ケア病棟でも緩和照射を行っております。

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
画像診断報告書発行件数	16,629件	16,709件	17,240件
CT	12,915件	13,140件	13,382件
MR	3,124件	3,037件	3,263件
RI	590件	532件	595件
臓器別照射標的数	159件	159件	226件
肺・胸膜	44件 (27.7%)	35件 (22.0%)	70件 (31.0%)
骨転移	42件 (26.4%)	56件 (35.2%)	79件 (35.0%)
脳転移	26件 (16.4%)	30件 (18.9%)	41件 (18.1%)
乳房	7件 (4.4%)	3件 (1.9%)	1件 (0.4%)
前立腺	7件 (4.4%)	3件 (1.9%)	4件 (1.8%)
その他	33件 (20.8%)	32件 (20.1%)	31件 (13.7%)

15 緩和ケア内科

スタッフ

緩和ケア内科医長

いけだ
池田 みき

専門：緩和ケア・呼吸器一般

放射線診療科医師

みかみ あきひこ
三上 明彦

専門：放射線治療

緩和ケア内科医師

さなだ かずまさ
真田 和賢

専門：緩和ケア・消化器一般

診療時間

午前・午後／曜日		月	火	水	木	金
午 前	初 診		★		★	★
	再 診		★		★	★
午 後	初 診				★	★
	再 診				★	★

★ 予約制

ご紹介いただく先生方へ

当院では、がんとエイズの患者さんの緩和ケア診療を行っております。身体的、心理的な苦痛などの症状緩和や在宅調整などの社会面のケアなどを、患者さんのご希望や生活パターンに添って行っております。症状緩和に放射線治療が有用と思われる場合には積極的にご提案させていただきます。また、患者さんおよびケアをしている方に休息いただくための短期一時的入院（レスパイトケア）も受け入れております。なお、緩和ケア病棟は令和4年12月に新棟に建て替えを行っており、20床から30床に増床となりました。新病棟も独立した平屋建てで病室からも自然を感じていただける療養環境となっており、増床に伴いこれまでよりも多くの患者さんにご利用いただけるようになっておりますので、ご紹介頂けますと幸いです。

また当院では、がん患者さんを対象とした緩和ケアの通院外来も行っており、他院でがん治療中の患者さんも受診頂くことが可能です。遠方のがん治療病院で治療を頑張られている時から当院にも受診頂き、状況を伺いながら必要時に速やかに症状緩和やサポートを行い、がん治療病院への通院が困難となった時にもシームレスに当院や在宅療養に移行できるようサポートさせていただきます。また在宅医療の先生方との併診も行わせていただいておりますので、画像検査や緩和照射などをご希望される際にもご紹介いただけますと幸いです。大切な時間をご自分らしく穏やかにお過ごしいただけるよう、外来、入院両方でサポートさせていただきますので、お気軽にご相談頂けますと幸いです。

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
緩和ケア病棟入院患者数	198人	266人	240人
平均待機日数	7.6日	6.1日	9.2日

16

麻酔科

スタッフ

手術部長

しずくいし まさあき
栗石 正明

麻酔科医長

ふくだ いさお
福田 功

麻酔科医長

いしがみ さつき
石神 五月

ご紹介いただく先生方へ

歴史ある東京病院ですが、肺の手術を全身麻酔下でおこなった、日本で初めての病院であることをご存じの方は意外とおられません。かつてここに在籍されていた盛岡 亨先生（後の熊本大学教授）は、日本にきたばかりの筋弛緩薬をご自身に投与してその効果を確認され、危うく命を落とすところだった、麻酔科学会のレジェンドです。

もと結核診療所であった病院の成り立ちから、重篤な呼吸器疾患を合併した手術患者さんも多く、他院で麻酔不可能といわれて受診される場合も多々あります。一時期COVID19のため手術件数が落ち込んでいましたが次第に増加し、令和6年度は統計を取り始めて以降、最も手術件数の多い年となりました。

診療実績

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全身麻酔のみ	66件	110件	84件
全身麻酔＋硬膜外麻酔・脊椎麻酔・等	294件	304件	336件
硬膜外麻酔・脊椎麻酔・伝達麻酔	155件	135件	137件
その他（局麻以外）	6件	1件	1件
局所麻酔	503件	487件	557件

17

病理診断科

スタッフ

臨床検査科医長

きたに	まさし
木谷	匡志

ご紹介いただく先生方へ

当院の病理部門は、病理医の独善的な診断を避け、他部門の医師との議論を通して正しい診断を下すことを最も重要視しています。そのため、以下の4点を理念として診断業務を行っています。

1) 診断は迅速・正確に

現在、生検標本では採取数日後、手術切除検体では1週間を目途に診断を提出しています。

2) 臨床情報を重視する

病理診断に臨床情報が必要と感じた場合には遠慮なく臨床家に質問をします。また、臨床家とのカンファランスやCPCを重視し、定期的に行っています。

3) 自分たちの能力を過信せず、自分の能力を超える検体と判断した場合には他施設の助言を得る

すべての臓器の病理所見に精通することはどの病理医にとっても困難ですので、他の病理医の意見をもらうことは非常に重要です。当院では国立がん研究センターを始めとして他施設病理診断科と連携しています。

4) 間違いは誰にでもある。間違いに気づいたあとの対応が重要であることを肝に銘じ、決してごまかさない。

患者さんへの被害を最小限にとどめるためには、事後の迅速で正直な対応が最重要であると認識しています。

連携医の皆さんとお会いする機会はほとんどありませんが、病理業務を介して皆さんの診療のお役に立てることができればと考えております。よろしくお願いいたします。

診療実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
切除肺症例	138件	129件	125件
生検例および肺以外の切除例	1,084件	1,138件	1,091件
迅速診断	42件	46件	45件
他院からのコンサルト	66件	94件	78件
剖検	2件	1件	2件
臨床家とのカンファランス (CPCを含む)	7件	6件	6件

18

認定看護師

ご紹介いただく先生方 医療スタッフの皆様へ

当院では、5分野9名の認定看護師が院内横断的に活動しております。地域の医療施設、医療従事者の皆様の職員研修や患者・家族支援の質向上のお役に立てればと思います。遠慮なくご連絡ください。

認定看護師 (Certified Nurse) とは

ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。

認定要件

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。

役割

特定の看護分野において、以下の3つの役割を果たします。

1. 個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。(実践)
2. 看護実践を通して看護職に対し指導を行う。(指導)
3. 看護職に対しコンサルテーションを行う。(相談)

皮膚排泄ケア認定看護師

あめみや じゅんこ
雨宮 順子

(特定行為研修修了者)

みやがわ めぐみ
宮川 恵

創傷（褥瘡・外傷）やストーマ、失禁に関する直接的なケアを行っています。また、高齢者に発生しやすいスキンケア（皮膚裂傷）予防にも力を入れています。

●ストーマ外来では、ケア状況の確認とお手入れ方法、トラブルへの対処を行うと共に、ストーマに対する悩みや不安をお聴きして、日常生活が不自由なく過ごせるよう支援しています。初診の方は、消化器外科（コロストミー、イミオストミー、ろう孔）、泌尿器科（ウロストミー）の事前予約、受診が必要になります。

●ストーマ、褥瘡共に在宅療養中で、受診が困難な方への訪問ケアも行います。訪問看護ステーションの看護師との同行となりますので、地域医療連携室にご相談ください。

看護外来（ストーマ外来）

	月	火	水	木	金
午前		○			
午後					

注：初診の場合は、ご利用の前に消化器外科、泌尿器科の受診が必要です。

緩和ケア認定看護師

むらやま ともみ
村山 朋美

治療の初期の段階から全人的な苦痛をやわらげ、患者さん・ご家族のQOLの維持を図れるようサポートさせていただいています。緩和ケア病棟の登録に関する『緩和ケア入院相談外来（火・木・金）』と『緩和ケア通院外来（金：午後）』に同席させていただき、患者さん・ご家族の相談を受けています。療養中の気持ちのつらさや、お話を聞いてほしいなどの相談にも対応いたしますので、地域医療連携室へ「緩和ケアの相談」とご連絡ください。

緩和ケアに関する貴施設での研修や勉強会などにも協力いたします。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

あきた かおり
秋田 馨

看護外来

	月	火	水	木	金
午前	○				
午後					

注：ご利用の前に呼吸器内科の受診が必要です。

入院、外来通院中の慢性呼吸器疾患の安定期・増悪期・終末期における患者さん・ご家族の支援を行っています。また、患者さんの人工呼吸器を安全に使用するため以下の活動を行っています。

- 医療従事者に向けての呼吸ケア向上を目指した呼吸ケアサポート（RST）研修の企画運営を行っています。R6年度から外部の参加を再開しました。研修スケジュールや申し込み方法はホームページをご確認ください。
- 看護外来にて、慢性呼吸器疾患患者のセルフマネジメント向上のため、当院医師の指示のもと、患者さんの相談外来を行っております。在宅酸素やNPPVを導入しているが生活に不自由を感じている、病気のことで相談したいこと等ありましたら、ぜひご活用ください。

感染管理認定看護師

まつもと ゆうこ
松本 優子

あだち あかね
足立 あかね

くろだ みのり
黒田 美徳

たかの しゅうさく
高野 周作

入院、外来通院中の患者さん・ご家族の皆様や医療従事者、病院関係者すべての人を感染から守る為に日々活動しています。また、近隣の医療機関とも連携を図りながら感染管理に関する情報交換も行っています。

自施設だけでなく、地域全体で感染制御に取り組まなければならない時代になってきています。基本的な対策は勿論のこと、感染に関する相談、貴施設での研修会などご要望があればお手伝いさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

認知症看護認定看護師

なかざと えりこ
中里 江理子

認知症の方の気持ちに寄り添い、患者さんの持てる力を活かしながら、安心して必要な治療を受け、安全に療養できる環境作りに向けて、多職種と協働して取り組んでいます。

また認知症があっても安心して生活できる社会を築く一助となるように、地域での認知症ケアの普及活動などにも積極的に参加させていただきたいと思います。

19

地域医療連携室

当院の地域医療連携室は、鈴木地域医療連携部長、椎名地域医療連携室長をはじめとして、医師2名、看護師6名、医療社会事業専門員（MSW）6名、事務職1名、委託職員9名の24名体制で構成しています。

地域医療連携室では、(1) 連携窓口、(2) 入退院調整、(3) 医療福祉相談、(4) 入院サポートセンターを主な業務としています。

(1) 連携窓口

地域の先生方からご紹介いただく患者さんの診療予約の受付や紹介・逆紹介の際に先生方との情報共有を行っています。

(2) 入退院調整

先生方からの入院依頼（主に緊急入院）を円滑に受け入れるよう外来や各病棟と連携しながらベッド調整を行っています。また、患者・家族、訪問診療医・訪問看護師、ケアマネージャーなどからの受診や入院・レスパイト入院の相談を承っています。このほか、逆紹介に伴う訪問診療、訪問看護や介護保険サービスの導入のコーディネートも行っています。

(3) 医療福祉相談

患者さんの経済的な相談、介護保険、福祉制度の利用など全般的な生活相談や医療機器、介護用品についての相談に応じています。

(4) 入院サポートセンター

検査、手術などを目的とした予約入院患者さんを対象に入院支援として入院前のオリエンテーションをはじめ、褥瘡や栄養状態のリスク評価、薬剤指導など多職種による入院サポートを行っています。また、緊急入院や転院など円滑に入院手続きが進められるようお手伝いさせていただいています。

地域医療連携室では、先生方との病診連携・病病連携を円滑に行うことで患者さんに切れ目のない医療を提供できるよう日々活動しておりますので、お気軽にご連絡くださいますようお願いいたします。

スタッフ

地域医療連携部長
(呼吸器内科医長)

すずき じゅんこ
鈴木 純子

地域医療連携室長
(脳神経内科医長)

しいな めいこ
椎名 盟子

地域医療連携係長（看護師長）

こぶね ちえ
小船 智恵

退院調整担当副看護師長

みかみ まゆこ
見上 真由子

退院調整看護師

ふくだ じゅんこ
福田 准子

退院調整看護師

ひらやま ふじな
平山 布志菜

退院調整看護師、入院サポート担当

しもの よしこ
下野 嘉子

退院調整看護師、入院サポート担当

かくた あゆみ
角田 愛由美

医療社会事業専門職

すがわら みほこ
菅原 美保子

医療社会医業専門員

かわごえ ともこ
川越 知子

医療社会医業専門員

いづか みほ
飯塚 美穂

医療社会医業専門員

やまもと ひさよ
山本 久代

医療社会医業専門員

おだか まりこ
小高 麻里子

医療社会医業専門員

ふじの まき
藤野 真希

地域医療推進室事務

- ・ 地域医療連携室長補佐 みに しんや 三谷 真也
- ・ 委託職員 9名

連携医療機関登録

当院では、先生方と相互に緊密な連携協力を図ることにより、患者さんの症状等に応じた医療を地域全体で円滑に提供できるよう連携医療機関登録を行っています。

これまで566機関（令和7年5月1日現在）が連携医療機関登録にご協力いただいております。登録機関一覧は、当院のロビーやホームページに掲載して患者さんにご案内しています。

活動実績

当院は、東京都から地域医療支援病院に承認されています。地域医療支援病院は、より詳しい検査や専門的な医療が必要であると地域の医療機関から紹介された患者さんに対して適切な医療を提供すること、医療機器の共同利用を実施することなどを通じて、第一線の地域医療を担う先生方の後方支援を役割としています。

ご紹介いただいた患者さんにつきましては、当院での診療が一段落し症状が安定した後に、原則として地域の先生方に逆紹介させていただいています。

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
紹介率	47.1%	68.5%	76.8%
逆紹介率	66.7%	95.4%	110.4%

紹介率・逆紹介率に係る承認要件（①～③のいずれかを満たす）

- ① 紹介率80%以上
- ② 紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上
- ③ 紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上

交通のご案内



電車各線からのアクセス

西武池袋線

- 「清瀬駅」南口よりタクシー5分
- 「清瀬駅」南口バス2番乗り場より
 - ・久米川駅行・所沢駅東口行 → 「東京病院北」下車
 - ・下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行 → 「東京病院玄関前」下車

※早朝夜間など「東京病院玄関前」を経由しない場合がありますので、車内アナウンスにご注意ください。

清瀬駅へは、

- ・池袋から西武池袋線快速・準急…約22分
- ・新宿からJR埼京線または山手線で池袋乗換…約36分
- ・新宿から都営大江戸線の練馬乗換…約40分
- ・渋谷から東京メトロ副都心線直通…約39分



JR武蔵野線

- 新秋津駅よりタクシー10分
または西武池袋線「秋津駅」で乗り換えて「清瀬駅」まで

西武新宿線

- 「久米川駅」北口バス1番乗り場より
清瀬駅南口行 → 「東京病院北」下車
- 「花小金井駅」北口
清瀬駅南口行 → 「東京病院玄関前」下車

※早朝夜間など「東京病院玄関前」を経由しない場合がありますので、車内アナウンスにご注意ください。

お車でお越しの方

- 駐車場：265台収容可能（30分以内無料）



独立行政法人
国立病院機構

東京病院

National Hospital Organization Tokyo National Hospital

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3丁目1-1



上記QRを読み取り
ホームページを見る
ことができます

<https://tokyo-hp.hosp.go.jp/>

代表

TEL：042-491-2111

FAX：042-494-2168

地域医療連携室(直通)

TEL：042-491-2934

FAX：042-491-2125

予約センター(直通)

TEL：042-491-2181

ご意見、ご質問はこちらまで E-Mail：217-admin-9@mail.hosp.go.jp

2025 東京病院 診療科・専門外来案内

東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL (代表) 042-491-2111

<https://tokyo-hp.hosp.go.jp/>

地域医療連携室 TEL (直通) 042-491-2934

FAX (直通) 042-491-2125



独立行政法人国立病院機構

東京病院